

# エレクトーンフェスティバル 2024 松栄堂楽器大会 コンクール部門

## 審査員講評

### 伊藤 幸代先生

まずは皆さん、お疲れさまでした。どの曲も熱演であつという間に時間が過ぎました。低学年の方から一般の大学生の方まで聴かせていただいて、歳を重ねていくとこうやって成長していくんだなと成長ぶりを実感しました。

今回気になったところが二つあります。

1つ目は楽器の知識についてです。

エレクトーンはどんな音でも出すことのできるマルチな楽器です。

それゆえに、様々な楽器がどのように演奏されて、どのように音が出るのかといったところをより一層研究してその楽器にふさわしい奏法、表現をできるように心掛けるとよいかと思います。

2つ目はテクニックと表現のバランスについてです。

このどちらかが欠けてしまっても良い演奏はできません。

そのためには、「間」や「微妙なテンポの揺れ」、「呼吸」を意識することが重要になるかと思います。

本日の大きなステージでの演奏は皆さんの成長の大きな糧になっているはずで

本日まで指導して下さった先生方、日頃教室に通わせてくれているご両親への感謝の気持ちを忘れず、これからも練習を頑張ってください。

本日はたくさんの素晴らしい演奏をありがとうございました。

### 内田 智美先生

今日は皆さんの熱のこもった力強い演奏をたくさん聴かせていただいて胸がいっぱいです。

ステージの経験が少ない方はどなたも緊張されていたと思いますが、自分の演奏を客観的に聴いてみて「こういう風にしたいけどうまくいかなかった」といったところも先生と相談し振り返りながらもう一度テクニックを磨いていってください。

このコンクールは、どんな曲でも選ぶことができるので、自分の好きな曲、好きなジャンルを見つけることのできるとてもいいチャンスです。

たくさんの種類の音楽を聴いて「こんな曲が弾きたいな」ということを毎年重ねていくことで自分の音楽に対する気持ちやこだわりを見つけていくことができると思います。

これからもたくさんの演奏に触れて良さを自分の演奏に取り入れていくようにしてください。

何度もステージの経験がある皆さんは今年作品は新しい出会いのきっかけはあったでしょうか？演奏はどなたも素晴らしくテクニックが高まっているのが感じられました。

今後はより「説得力のある演奏」が重要になってきます。

エレクトーンはメロディ、伴奏に加えてベースまであります。

それらすべての表現にこだわるために時には自分自身の演奏を映像に撮って観て、楽器の下側のスピーカーを近くで音を聞いてみるなど、様々な普段と違ったアプローチで楽器と向き合ってみるとまた違った気づきがあるかもしれませんね。

ぜひ隔々まで自分のこだわりの詰まった演奏をできるようにテクニックを磨いていってください。

最後に、このステージに立つためには先生やご両親、たくさんの方々の協力があることと思います。その支えをこれからも感じながら自身の音楽を追求していってください。

本日はお疲れさまでした。